

公 表 第 8 号

地方自治法第199条第14項の規定により、久留米市長及び久留米市教育委員会教育長から当該監査の結果に基づき措置を講じた旨の通知があったので、次のとおり公表します。

令和7年7月4日

久留米市監査委員	山	口	文	刀
久留米市監査委員	樋	口	明	男
久留米市監査委員	永	田	一	伸
久留米市監査委員	秋	永	峰	子

定期監査の結果に基づく指摘事項等の措置状況

監査実施年度：令和6年度

部局名：農政部

		指摘事項等	措置状況等
指摘事項	財務監査	旅費支給事務 旅行命令中の金額欄の訂正を砂消しゴムで行っているものがある。	ご指摘を踏まえ、同様の事例が発生しないよう課内で情報共有を行いました。今後は適正な事務処理に努めてまいります。
指摘事項	財務監査	契約事務 必要な仕様書が備わっていない請書を受け取っている。	ご指摘を受けて、速やかに処理を行うとともに、同様の事例が発生しないよう課内で情報共有を行いました。今後は適正な事務執行に努めます。
意見	事務監査	<p>農業者の高齢化と減少が急速に進行し、農業生産基盤の脆弱化が危惧されるなか、農業を持続的に発展させていくためには、担い手等への経営継承を促しつつ、生産を行う農業労働者として多様な人材の活躍を促進することが重要である。福岡県内最大の農業産出額を誇る農業都市である久留米市も、農業の担い手の育成・確保と労働力を確保していく必要がある。</p> <p>これまで、外国人技術実習制度や特定技能制度を活用して外国人労働者を確保してきたが、これからも安定的に労働力として見込むことは、制度の見直しや円安の影響もあって、難しくなっていくと想定される。そのため、今後は、多様な人材を農業従事者として確保することが必要であり、その取り組みのひとつとして「農福連携」がある。</p> <p>農福連携の取組は、障害者の就労や生きがい等の場の創出となるだけでなく、農業就業人口の減少や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながるものである。久留米市内でも、すでに障害者等が適応できる作業に工夫して取り組まれてきている農家が出てきている。</p> <p>将来の農業や福祉施策を見据えたときに、課題解決の手段のひとつになると考えられることから、福祉所管部局と協力・連携しながら、さらに農福連携を進められたい。</p>	<p>将来にわたり久留米市の農業を維持し、発展させていくうえで、雇用労働力を確保していくことは非常に重要であると認識しており、多様な人材確保の観点から、外国人材の活用とともに農福連携を推進してまいりました。</p> <p>これまでの農福連携の取組みとして、就労継続支援事業所へのアンケート調査や、その結果を踏まえた障害のある方が取り組みやすいよう作業を細分化した動画の作成、農作業受託希望の福祉事業所と障害者雇用の意向がある農家との意見交換会及びマッチング会の開催、農家に対して障害者雇用への理解を深めてもらうための研修会、支援者向け農福連携マニュアルの作成を実施してまいりました。</p> <p>これらに取り組むにあたっては、これまでも効果的なものになるよう適宜福祉所管部局と協議しながら進めてまいりましたが、農業者の減少が加速する中で、今後も福祉所管部局との連携を強化しながら、農福連携を進めてまいります。</p>

定期監査の結果に基づく指摘事項等の措置状況

監査実施年度：令和6年度

部局名：商工観光労働部

		指摘事項等	措置状況等
意見	事務 監査	<p>中心市街地において、様々なイベントなどの施策を行っているが、一時的な賑わいづくりにとどまっており、商業の活性化につながっていない感がある。まずは来街者との考えは理解するが、本来、市が中心市街地に対して様々な事業を実施する目的は、商店街に人が集い、商店が売り上げを伸ばして、地域経済の活性化につなげることである。</p> <p>消費者のニーズや行動も、ひと昔前からは大きく変わり、市民が中心市街地に期待していることも変化している。商品の購入は、ネット通販か郊外の大型商業施設に求めることが主流となる中で、商店街ならではの魅力の創出が重要であると思われる。</p> <p>西鉄久留米駅周辺については、西鉄久留米駅周辺整備構想会議による整備構想の策定が始まっているが、これらと連携しながら、商工観光労働部として効果のある施策を検討されたい。</p>	<p>久留米市では、土曜夜市など中心市街地で開催されるイベントのほか、商店街ならではの体験できる事業として「まちあるき」や個店の魅力の再確認ができる「まちゼミ」への支援など、継続的な賑わいの創出に取り組んでおります。</p> <p>また、中心市街地に増加しているオフィスで働く方や住民を商店街に呼び込むため、レイリア久留米のデジタルサイネージを活用したイベントPRや東口からの誘客につながるワインフェスティバルへの支援など、リニューアルされた西鉄久留米駅の利用者を含め、新たな来街者の獲得に向けた取組みも行っているところです。</p> <p>このような新規・継続の取組みの結果として、歩行者や六角堂広場の来場者数もコロナ禍明けから徐々にではありますが増加傾向にあることから、中心市街地や商店街において賑わいが戻りつつあるものと認識しております。</p> <p>整備構想につきましても、事業の進捗を注視しながら関係者と連携を図ってまいります。</p>

定期監査の結果に基づく指摘事項等の措置状況

監査実施年度：令和6年度

部局名：都市建設部

		指摘事項等	措置状況等
指摘事項	審議会等事務	附属機関等の会議について、市ホームページ上で会議資料等が公表されていないものがある。	令和6年度の建築審査会開催状況及び議事録を市ホームページ上で公表しました。今後は速やかな公表に努めてまいります。
指摘事項	旅費支給事務	旅行命令に係る専決権者を誤っているものがある。	部長決裁を行い是正いたしました。今後、旅行命令書決裁の際は、複数の担当者及びチームリーダーで再確認することで再発防止に努めて参ります。
指摘事項	契約事務	契約書に貼付すべき収入印紙について、金額が不足しているものがある。	業者を指導し、不足分の印紙を契約書に貼付し是正いたしました。今後、他の業務における契約を含め、複数の担当者及びチームリーダーで再確認することで再発防止に努めて参ります。
意見	事務監査	<p>久留米市では、地域住民の移動手段の確保のために、現在、よりみちバスとコミュニティタクシーの事業を行うとともに、赤字バス路線に対して補助を行っている。これまでも、生活支援交通システムの再構築について、監査意見として述べてきたが、よりみちバス、コミュニティタクシー、路線バスに対する市の負担額を利用者一人当たりで換算すると、大きな差が生じたままとなっている。</p> <p>様々な見直しを行いながら、現在の方式で実施しているが、よりみちバスの1便当たりの利用者をみても多い状況ではない。また、公共交通空白地域であってもコミュニティタクシーが利用できない校区があるなど、住民が利用しやすい公共交通支援策とは必ずしも言えない。</p> <p>地域社会の活性化を図るためには、地域住民の移動手段の確保が必要であるが、今後は、高齢者人口の増加と運転手等の労働力不足とが相まって、地域交通の確保がこれまで以上に課題となることが推測される。また、費用対効果を考慮したうえで、地域住民が利用しやすい有効な交通手段を提供しなければ、公金の適正な支出とは言えない。</p> <p>近年では、AIデマンド交通を導入する自治体も増えてきている。AIデマンド交通は、利用者のニーズに柔軟に対応できるものとして、多くの利用が見込めるのではないかと期待されている交通手段である。</p> <p>現在、市議会特別委員会における生活支援交通についての調査が行われているが、この結果を踏まえながら、効率的で効果的な住民から利用される交通施策を、しっかりと実施されたい。</p>	<p>生活支援交通制度は、現行制度の課題解決には制度の再構築が必要であると認識し、これまでに他自治体の事例や新たな取組みについて研究を行ってきたところです。</p> <p>そのような中、生活支援交通制度は市内各地域の特性や求められるニーズ等を考慮した制度設計が不可欠であることから、現制度の課題整理とともに、ご指摘にありましたAI活用デマンド交通システムの導入も含めた新たな手法の具体的検討・検証が必要であると認識しております。</p> <p>今後は、令和7年2月に議会の生活支援交通・買物問題調査特別委員会より出された調査結果の内容も踏まえ、他部局と連携のもと、住民にとって最適な生活支援交通制度の再構築を進めてまいります。</p>